研究全体構想図

学校教育目標

輝く未来へ　なりたい自分を追求し　しなやかに生き抜く　子どもの育成
～保護者や地域を幸せにする「東館笑輝」を目指して～

〈目指す子ども像〉

①基礎的・基本的な知識をしっかり身に付けていく子ども
②自分の考えを自分の言葉で伝えられる子ども

〈研究主題〉

自分の考えを伝え合い「分かった」「できた」の輪が広がる授業づくり
～「各教科の見方・考え方を働かせた、自分たちで学び合う授業」を目指して～

〈研究の仮説〉

①身に付けたい力を明確にし、知識・技能を高める時間を確実に設定することにより、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。
②必要感のある学習課題や見通しのもたせ方を工夫することで自分の考えをもち、自分の言葉で伝え合うことができる子どもを育てることができるであろう。

〈研究の重点と、具体的施策〉

基礎・基本の定着	伝え合う力の育成
・身に付けたい資質・能力の明確化 ・評価場面、評価方法の工夫 ・適用問題の設定、習熟時間の確保 ・学びの価値付け ・話形や教科用語の活用	・コンパクトでインパクトのある導入 ・対話を生む発問の吟味 ・話合いの形態の工夫 ・目的意識をもった問題解決 ・一人一人が自分の考えをもつための時間の確保
子どもが授業を想起できる学習コーナーの充実	

〈学びを支える共通実践事項〉

・東館小スタンダードの活用（学習の約束など）
・語彙の拡充（辞典・音読）
・タブレット学習（導入・話合いドリルなど）
・反応ワード（比内中学校区共通実践事項）
・単元評価問題の活用
・家庭学習の充実
・学級づくり

〈おおだて型学力を鍛える３つの柱〉

前に踏み出す力 （アクション）	課題をもち、考え抜く力 （シンキング）	チームで働く力 （チームワーク）
☆主体的に学びに取り組む授業	☆課題を見付け、考え抜く力により解決を図る授業	☆集団で学び合い、全員がゴールへ到達する授業